

平成29年第四回

千代田区議会定例会区長招集挨拶

平成29年第四回  
千代田区議会定例会区長招集挨拶

目次

一 本区の財政運営と平成30年度予算編成方針について	1
二 議案	10

\* 本文は、口述筆記ではありませんので、表現その他若干の変更があります。

平成29年第四回区議会定例会の開会に当たり、私の区政運営における所信を申し上げます。

「本区の財政運営と平成30年度予算編成方針について

はじめに、本区の財政運営と平成30年度予算編成方針について申し上げます。

まず、「国の税財政改革の動向を踏まえた財政運営」について申し上げます。

先月末、国の「財政制度等審議会」において、国が各自治体に地方消費税を配分しているルールを抜本的に見直す提案がなされました。

一部報道によれば、現在、都道府県ごとの「消費額」、「従業員数」、「人口」の3つの指標に基づ

いて配分している方法を、すべて「子どもと高齢者の人口」の比率に応じて配分する方法に見直すというものであります。これは、高齢化に配慮し、消費額が相対的に少ない地方への配分を手厚くすることをねらいとしております。仮に、この報道による見直しが実施された場合、大都市の税源を奪い取ることとなり、財政運営にとって大きな打撃となるばかりでなく、地方分権の流れに逆行するものであります。

報道機関の試算では東京都全体では最大で3千億円減少する可能性があると言われておりますが、仮にこの基準で、平成28年度決算をベースに試算した場合、本区においては、交付額が109億円から8億円へと約100億円減収することも見込まれ、多大な影響を受けることが懸念されます。

この提案に対しましては、特別区長会として東京都や都内市町村等と連携して、国に対し強く抗議したところではありますが、この論議を契機に、大都市の税源を地方へ移転しようとする国の税財政制度改革が、今後より一層、加速していくことも考えられますので、税財政制度全般に対して、絶えず注視していくことが重要であると認識しております。

このように将来の財源確保に懸念が生じている一方、区には、区民生活の安全を確保し、安心を支える基礎的な自治体として、区民の皆さんの期待や要望に迅速かつ的確に応えていく大きな責務があります。

子ども・子育て支援や高齢化社会への対応、大震災への備えなど、本区が取り組まなければならない喫緊の課題が山積しております。また、『東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会』に関して

は、開催まで残り1千日を切り、区民や国内外から訪れるさまざまな方々が、「安全」、「安心」、「快適」に過ごすことができる取り組みをより一層加速させなければなりません。

これらの区政課題の解決に向けて、今後も引き続き不断の内部努力を重ねて財源を生み出すとともに、これまで蓄えた各種基金も活用して、積極的かつ安定的な財政運営を図っていく所存であります。

次に、「平成30年度予算編成方針」について申し上げます。

平成30年度は、本区の10か年の基本計画である『ちよだみらいプロジェクト』策定から4年目となり、さまざまな取り組みを更に加速して実現させていく重要な時期と捉えております。このため、

庁内の横断的な連携をより強化し、目指すべき将来像の実現に向けて積極的に取り組んでまいります。

さて、平成30年度予算の編成に当たりましては、「次世代育成」、「保健福祉」、「危機管理」、「環境対策」の4分野を重点事項として定めております。

まず、「次世代育成」についてですが、子育てが安心して行える環境整備や、子どもたちが健やかに成長できる社会の実現を推進してまいります。

そのための手当として、児童手当を超えた部分に対し、区は独自に、妊娠時から高校生相当年齢までの支援のため、所得制限のない次世代育成手当を支給しております。

また、次代を担う子どもたちの健やかな成長と

保健の向上を図るために、区は、区独自の助成として、高校生等医療費助成を行い、次世代育成に努めているところでございます。更に、子ども人口の急増に伴い、更なる事業展開も求められておるところでございます。

このため、今後も引き続き、区民の皆さんのニーズ等を踏まえた、きめ細やかな事業を展開してまいります。

次に、「保健福祉」についてですが、高齢になっても、障害があっても、さまざまな状況の変化に応じて、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、きめ細やかな相談支援やサービスの充実を図ってまいります。

本区では、これまでも区民生活に直接かかわる保健福祉施策に重点をおき、社会保障制度だけでは

不十分な福祉サービスを区独自に実施、充実させてまいりました。

現在、平成30年度からスタートする「第7期介護保険事業計画」や「第5期障害福祉計画」の策定を進めております。

これらの計画において、高齢者や障害者を取り巻く環境の変化を踏まえ、区民ニーズに対応するための施策を位置付け、予算に反映させてまいります。

次に、「危機管理」についてですが、首都直下型地震や集中豪雨などの自然災害等から命を守る取り組みを強化するため、本区では、地域主体による防災訓練や帰宅困難者対策の強化、災害時医療連携の整備など、多岐にわたる対策を進めてまいりました。

しかし、高い確率で発生が予想される首都直下型地震に加え、毎年各地で発生している台風や集中豪雨などの都市型災害などに対し、より一層、対応力の向上が求められております。

一方、過去の大規模災害の例からも明らかのように、平常時からの「自助」による対策なくして発災時に命を守ることは不可能です。また、千代田区に  
いるすべての方々が、相互に助け合い、支え合う「共助」なくしては、減災を実現することも不可能です。

このため、「自助」、「共助」の取り組みを「公助」がしっかりと支えていくための、より具体的な対策を取り組んでまいります。

次に、「環境対策」についてですが、低炭素社会の実現に向けた取り組みを強化してまいります。

本区では、これまで施設や設備における省エネルギー化やヒートアイランド対策を推進してまいりました。

しかし、平成34年度におけるCO2削減目標値の達成に向けては、更なる取り組みが必要な状況となっております。

このため、平成30年度からスタートする「第4次地球温暖化対策実行計画」の策定に向けた議論の中で、これまでの事業の検証や新しい事業の展開を検討し、予算に反映させてまいります。

なお、平成30年度予算の編成に当たりましては、平成28年度決算における執行率や、今年度の事業の進捗状況等を確認し、必要な見直しや改善、新しい取り組みを進めてまいります。

また、基金につきましては、地方消費税の配分問題を含めた、今後の税財政制度の動向等も踏まえ、

中長期的な目的別基金の活用見込みについて整理し、当初予算(案)と合わせてお示ししていきたいと考えております。

今後、質の高い区民サービスを提供できるよう、区民の皆さんのご期待に応える予算編成に鋭意取り組んでまいります。

## ロ 議案

最後に、今回提案いたしました諸議案についてでございますが、

● 条例の一部を改正するもの、 **3**件、 であります。

何とぞ、慎重なご審議の上、原案どおりご議決

賜りますようお願い申し上げます。

以上をもちまして、平成29年第四回区議会  
定例会の開会の挨拶といたします。

ありがとうございました。

平成29年 第4回定例会日程(案)

[H29.11.17](#)

月 日	午 前	午 後
11月 13日 (月)	(告示日)	1:30 議運
11月 14日 (火)		
11月 15日 (水)		
11月 16日 (木)		
11月 17日 (金)	11:30 議運	1:30 文教 (午後 議長会)
11月 18日 (土)		
11月 19日 (日)		
11月 20日 (月)	(招集日) 11:30 議運	1:00 本会議
11月 21日 (火)		1:30 議運
11月 22日 (水)		
11月 23日 (木)		
11月 24日 (金)		
11月 25日 (土)		
11月 26日 (日)		
11月 27日 (月)		
11月 28日 (火)		
11月 29日 (水)	11:30 議運	1:00 継続会
11月 30日 (木)	11:30 議運	1:00 継続会
12月 1日 (金)	10:30 常任(企画・福祉・文教)	
12月 2日 (土)		
12月 3日 (日)		
12月 4日 (月)	10:30 オリパラ	1:30 施設整備
12月 5日 (火)	10:30 あり方	1:30 都市基盤
12月 6日 (水)		1:30 議運
12月 7日 (木)	10:30 常任(企画・福祉・文教)	
12月 8日 (金)		1:30 議運
12月 9日 (土)		
12月 10日 (日)		
12月 11日 (月)	11:30 議運	1:00 継続会
12月 12日 (火)		
12月 13日 (水)		
12月 14日 (木)		
12月 15日 (金)		
12月 16日 (土)		
12月 17日 (日)		

# 発言通告書（総括表）

平成29年第4回定例会 代表質問

NO	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
1	戸張議員 (自民)	<p>○グローバル社会における国際理解教育のあり方について</p> <p>○地域コミュニティの活性化について</p> <p>○第7期介護保険事業計画の策定について</p> <p>○喫煙対策について</p> <p>○神田地域のまちづくりについて</p>	<p>○グローバル社会における国際理解教育の課題と、今後どのように取り組んでいくのか見解を問う</p> <p>○地域コミュニティ醸成支援事業の進捗状況について</p> <p>○マンション居住者と町会との交流について</p> <p>○第6期事業計画の達成状況、第7期での取り組み概要、保険料について</p> <p>○第3回定例会の総括質疑において、区長は喫煙所の整備に積極的に推進していくと明言したが、その具体性を問う</p> <p>○来春から16か所の公園等を禁煙化することが示されたが、その進捗状況とそれ以外の公園への取り組みを問う</p> <p>○神田地域における今後の市街地整備について、地域の特性・個性を活かす市街地の機能更新が重要と考えるが、区の基本的な考え方を問う</p>	区長、教育長 及 び 関係理事者
2	はやお議員 (千代田)	<p>1. 財政運営について</p> <p>2. 住宅宿泊事業法について</p> <p>3. 教育委員会について</p>	<p>(1) 地方消費税の格差是正に伴う歳入構造の見直しについて問う。</p> <p>(2) 基金の活用を含めた構造的な今後の対応について問う。</p> <p>(1) 本区における検討状況・進捗について問う。 ・区域・期間の制限条件等について ・検討体制・スケジュールについて</p> <p>(2) 施行後の実施体制について問う。</p> <p>(1) 教育委員会の体制について問う。</p> <p>(2) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第12条の規定について問う。</p> <p>以上</p>	区長、教育長 並 び に 関係理事者

# 発言通告書（総括表）

平成29年第4回定例会 代表質問

NO	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
3	木村議員 (共産)	<p>(1) 暮らし・福祉</p> <p>(2) まちづくり</p> <p>(3) 民泊について</p>	<p>○国民に自助・互助を求め、社会保障制度の負担増と給付減をすすめる安倍政権の「社会保障改革」について区長の見解を問う</p> <p>○来年度からの国保の都道府県単位化に伴い、国保料はどの程度上がるのか。引き下げのために、都の財政支援と一般会計の繰入れを</p> <p>○高層ビル・マンションを抑制するルールについて 「住宅付置制度と開発協力金制度」に代わる「住環境整備推進制度」の実効性を問う。</p> <p>○まちづくりにおける住民の合意形成について ①街路樹と②翹町仮住宅の二つの問題を事例に、 情報公開と住民参加の徹底を求める。</p> <p>○厚労大臣は今年2月、国会で住宅宿泊事業について「旅館業法の基本哲学を実現していく」との考えを示した。この視点での条例化が求められる。</p>	区長、 関係理事者
4	岩佐議員 (紡民)	<p>1. 文化芸術振興について</p> <p>2. フレンドホーム制度について</p> <p>3. 千代田区女性史について</p>	<p>教育と文化のまち千代田の実現に向けて、千代田区文化芸術プランの進捗と各事業支援のあり方について問う。</p> <p>様々な事情から家庭で暮らすことができない子どもたちを、週末や休日の短期間受け入れるフレンドホーム制度（週末里親）事業について区の考えを問う。</p> <p>価値観が多様化し移り変わりも速い現代において、社会史の1つとして千代田区女性史を再編することについて、区の考えと体制を問う。</p>	区長及び 関係理事者

# 発言通告書（総括表）

平成29年第4回定例会 代表質問

NO	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
5	大串議員 (公明)	<p>1. 乳幼児の保育、教育のあり方について</p> <p>2. 乳幼児の療育について</p>	<p>本年3月、幼稚園教育要領、保育所保育指針、認定こども園教育・保育要領が改定された。(来年4月施行)その主なポイントは、幼児教育の3園共通化と3歳未満児の保育に関する記載が充実したことである。特に、保育指針については、子どもの権利の視点が入った内容となっており評価できるものだ。そこで、</p> <p>①区としての保育・教育のあり方について基本的な考え方を問う。</p> <p>②この度の改定を受け、「就学前プログラム」の更新が必要となる。その際、保育・教育についての基本的な考え方を「理念」また「方針」として記述してはどうか。また、コンパクトでわかりやすい保護者版(一般向け)「就学前プログラム」の作成を提案する。所見は。</p> <p>乳幼児の療育は特に重要である。早期発見、早期支援を関係機関が連携しながらまた乳幼児の成長に即して切れ目なく行っていく必要がある。そこで、</p> <p>①乳幼児の療育について基本的な考え方を問う。</p> <p>②早期発見、早期支援の方法として、大津市で行っている「赤ちゃん手帳」(乳幼児健康カード)は有効である。千代田区版の「赤ちゃん手帳」の作成を提案する。所見は。</p> <p>③乳幼児の療育需要増に対応するため子ども発達センターさくらキッズの拡大は。</p> <p>④療育費用の無償化について</p>	<p>区長、教育長 および 関係理事者</p>

# 発言通告書（総括表）

平成29年第4回定例会 一般質問

NO	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
1	永田議員 (自民)	公教育の質の向上について  消費生活支援事業について	各区立小学校、中学校の特色を生かした教育が必要ではないか。学校運営上の改善点を抽出して解決可能な環境になっているのか。学校独自の運営、カリキュラムに対する区の財政的な支援体制はあるのか。 公教育の質の向上について本区のを考え方を問う。  消費生活支援事業として期間限定で実施したスタンプカードは平成27年度で終了している。 2年後に予定されている消費税増税と東京2020大会に向けて新たな事業の必要性を問う。	区長、教育長 及び 関係理事者
2	池田議員 (自民)	・食を通じた千代田のコミュニ ティ	・一人暮らしの方や、諸事情でやむを得ず一人で食事をする子どもたちの孤食の解消へ、多世代交流の場となる環境の整備が必要ではないか。  ・2020五輪東京大会に向け、大使館との交流の契機として、各国の食文化を学ぶことで国際理解教育を推進してはどうか。	区長、教育長 及び 関係理事者
3	小林た議員 (声)	1. 点字ブロック(視覚障害者誘 導用ブロック)について  2. 情報セキュリティ確保に向 けた体制について	① 点字ブロックについて、どのような認識でいるのか。 ② 道路・公共施設に設置されている点字ブロックの問題点にどのように対処しているのか。 ③ 点字ブロック設置に利用者の参加・参画は確保されているか。 ④ 区役所と高齢者総合サポートセンター「かがやきプラザ」の点字ブロックが甚だしく相違しているのは何故か。 ⑤ 区内の不便なところは、至急改修するつもりか。 ⑥ 今後の対応は如何するつもりか。ご見解他  ① 全庁 LAN の運用保守体制について 全庁 LAN リプレースにかけた費用と内容は(推移と直近) システム導入運用にあたり、どういう体制で進めているか ② 今年実施した、情報セキュリティ強化の内容について、具体的に何をしたか。各部署で不具合が発生しているがつかんでいるか。どう対応しようとしているか。 ③ 何故そこまでしてセキュリティの強化をしなければならなかったか。これで情報漏洩、ウイルス感染は回避できるのか。 ④ 強靱化対策で事務処理に大きな影響を及ぼしているのではないかと。事務処理で具体的	区長並びに 関係理事者

# 発言通告書（総括表）

平成29年第4回定例会 一般質問

NO	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
3	小林た議員 (声)		<p>な変更点は何か。事務改善に関する検討は行ったか。</p> <p>⑤ 区民への利便性の低下について検討は行ったか。</p> <p>⑥ 利用者すべてに周知をしたか。急に連絡が取れなくなった区民がいるがどう対処したか。</p> <p>⑦ これらはいつ、誰が決めたのか。</p> <p>⑧ IT推進課は、どのような体制になっており、職員でスキル・ノウハウある職員は何人いるのか。職員体制は。</p> <p>⑨ 人材育成について</p> <p>⑩ 研修体制について 職員は勿論、経営層や議会へも必要</p>	区長並びに 関係理事者
4	たかざわ議員 (千代田)	<p>1、区の土壌汚染対策の状況</p> <p>2、より効果的な防災訓練にするために</p>	<p>築地市場の豊洲移転で土壌汚染が問題となった。区内では中小の工場等それらを廃止・除却する場合には、土壌調査及び汚染土壌の処理を指導しているが、どのような業種が対象となるのか？土壌対策法では一定規模（3,000㎡）以上に義務付けられているが、区内ではどのような基準があるのか？また、無届の場合や指導に従わない事業者への対応は。</p> <p>今月18日に、飯田橋アイガーデンにおいてより実践的な防災訓練が行われた。また、区内各避難所において「避難所開設訓練」や「避難所運営ゲーム」を利用したHUG訓練が実施されている。より効果的な訓練にするために工夫できることはないか？</p>	区長並びに 関係理事者
5	寺沢議員 (紡民)	大規模災害時におけるごみ処理と対応が必要な区各部との連携について、など	<p>清掃工場を持たない千代田区において大規模災害時のガイドライン・作業マニュアルは策定されているのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃職員の仕事と災害対策・危機管理課、道路公園課、福祉部衛生面の保健所、陣頭で指示を出す区長等の連携はとれているのか。</li> <li>・区民、住民へのごみ問題の周知徹底について</li> <li>・清掃事務所、三崎中継所の耐震性と車両、人員体制は十分か。</li> <li>・日常生活ごみとがれき被災ごみの分別について、避難所の分別は。</li> <li>・ペット、小動物の死体処理は現在決まっているが御遺体については、どの程度決まっているのか。等</li> </ul>	区長並びに 関係理事者

# 発言通告書（総括表）

平成29年第4回定例会 一般質問

NO	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
6	林議員 (千代田)	<p>○千代田区の人口推計を</p> <p>○小学校の充足率と今後の見込</p> <p>○小学校の適正規模は？</p> <p>○保育園の整備時と現状、今後の見込</p> <p>○複合施設の判断基準とは何か？</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本構想の目標人口5万人は超え、想定人口6万5000人も数年の内に突破しそうな現状を踏まえて</li> <li>・千代田区公共施設適正配置構想の教訓は？</li> <li>・区立小学校改築時と現状について</li> <li>・区立小学校の面積の適正規模は？</li> <li>・区立小学校の児童数の適正規模は？</li> <li>・保育園の役割と今後の課題</li> <li>・公共施設適正配置構想と現在の相違点は？</li> </ul>	区長、教育長 並びに 関係理事者
7	牛尾議員 (共産)	<p>(1)教員の多忙化問題について</p> <p>(2)党区議団がとりくんだ「区政アンケート」に寄せられた声をもとに、2つの施策を求める</p>	<p>◇教員の多忙化が大きな社会問題となっている。そうしたなかで</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 区として区立学校の教師の残業の状況など、実態を正確に把握することを求める。</li> <li>2 多忙化解消のために授業以外の実務の軽減など、区としての対策を求める。</li> <li>3 多忙化を根本的に解決するために教員の抜本的な増員を。</li> </ol> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 高齢者福祉タクシー券の実現を</li> <li>2 がん検診無料化の拡充を</li> </ol>	区長、教育長 ならびに 関係理事者
8	飯島議員 (共産)	<p>児童相談所設置について</p> <p>旧富士見福祉会館の暫定活用について</p>	<p>「経済格差と貧困」や保護者の長時間労働、受験戦争などの影響により、子どもを取り巻く環境は厳しい。このような中で、児童相談所の開設についての課題などを問う。</p>	区長並びに 関係理事者

# 発言通告書（総括表）

平成29年第4回定例会 一般質問

NO	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
9	米田議員 (公明)	千代田区地球温暖化対策(事務 事業編)について  期日前投票について	<p>①地球温暖化対策第4次実行計画(事務事業編)が計画されている。第3次計画の成果と課題について</p> <p>②本区は建築物エネルギー使用量の削減が重要な課題である。現在計画中の「地球温暖化対策第4次実行計画(事務事業編)」について区としてどのように取り組んでいくのか</p> <p>③エネルギーを地方に依存している本区にとって、エネルギーに関する地方との連携は重要である。現状の取り組みと今後の展望は</p> <p>全国的に期日前投票が伸びてきている。本区も同様である。今回の衆議院選挙でも多くの方が期日前に投票に来られた。 今後も期日前投票の増加が見込まれる。区のこれまでの期日前投票の成果と課題についてと、今後の取り組みについて</p>	区長および 関係理事者
10	岩田議員 (民進ク)	特殊詐欺対策について  猫殺処分ゼロについて	<p>被害者を出さない為にも区は今後、何をなすべきか。</p> <p>猫殺処分ゼロを継続していく為に、区は何をしてくれるのか。 そして何をなすべきか。</p>	区長並びに 関係理事者